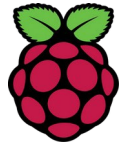




MX-19.4 レスピン



# Raspberry Pi "Ragout2"

ユーザー名 :

pi

パスワード :

pi

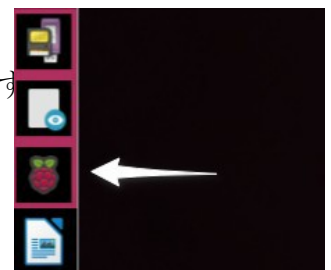
1. 最初のステップ
2. 一般的な紹介
3. タッチスクリーン
4. デフォルトのFluxboxとOpenbox
5. トラディショナルFルクスボックス
6. リンク

このヘルプドキュメントは、基本的な使用方法やソフトウェア管理など、MX Linuxの一般的なトピックを網羅した『MXユーザーズマニュアル』（Shift+F1）を補完するものです。

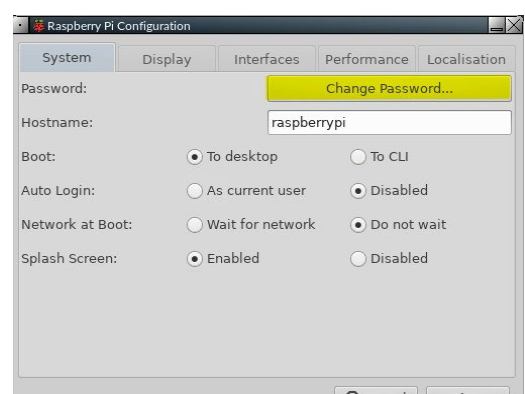
## 1.最初のステップ

### Raspberry Piの構成

Dock上でRaspberryアイコンをクリックすると、設定画面が表示されます。

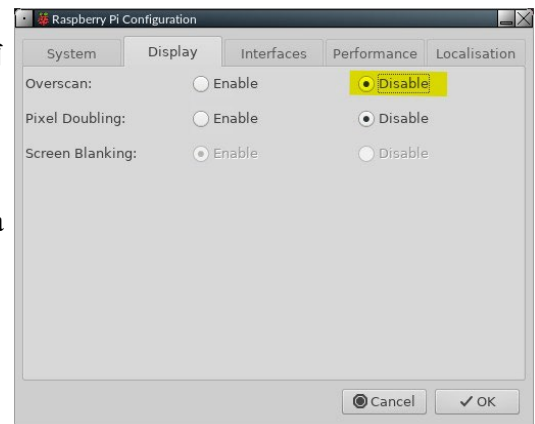


最初のタブでは、デフォルトのパスワードから変更することができます。常識的に考えて、これを行います。新しいパスワードは、正しく入力されているかどうかを確認するために、2回入力する必要があります。必ず覚えておいてくださいね。



## Raspberry

Piは、テレビをディスプレイとして動作させることを前提に設計されています。モニターで使用する場合、ウィンドウの外側に黒い枠が表示されることがあります。このような場合、アンダースキャンを有効にする必要があります。ディスプレイ」タブを選択して、「Disable bullet」 ボタンをクリックします。



最後に、お住まいの国やタイムゾーン、使用しているキーボードレイアウトに合わせて、さまざまな設定を行う必要があります。ローカライズ」タブを選択し、必要に応じて各項目を設定・保存します。一般的でない文字を正しく表示するには、文字セットとしてUTF-8を選択する必要があるかもしれません。



必要な変更をすべて終えたら、「OK」をクリックします。再起動を促すメッセージが表示されますので、実行してください。次にログインページに戻るときは、新しいパスワードを忘れずに使用してください。

これで、スマートで高速な新しいオペレーティングシステムを楽しむことができるようになりました。

## サウンド

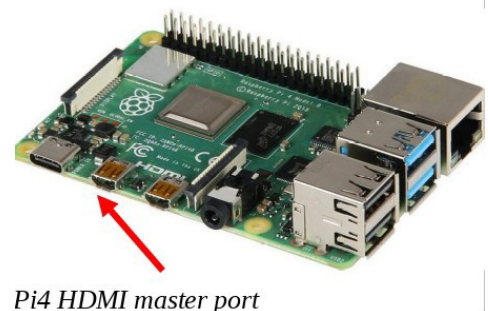
テレビやモニターから、最初は音が聞こえないことがあります。これを修正するには、いくつかの方法があります。

1) まず、Piと4Piの両方に2つ400のmicro-HDMI出力ポートがあります。Pi

4では、電源入力コネクタに近い方のポートがマスターとなります。Pi

400では、電源入力コネクタから最も遠いポートがマスターとなります。どちらの場合も、マスターコネクタは2つのうち左のポートになります。

1台のディスプレイを使用する場合は、常にマスターを使用する必要があります。間違ったポートを修正するには、Piをシャットダウンして電源を切り、HDMIケーブルを



マスターポートに交換して再起動し、サウンドが動作するかどうかを確認してください。

*Pi400 HDMI* マスターポート

2) うまくいかなかった場合、次に試すのはRaspberry

Piの詳細設定の設定です。設定ツールはマウスでは操作できないので、矢印キーとタブキーで移動する必要があります。

これにアクセスするには、「Settings

Manager」を開き、アイコンをクリックします（またはターミナルで次のように入力します：`sudo raspi-config`）。

1. **Option System1, Options** がハイライトされます。Enterキーを1回押します。
2. オプションS2が**オーディオの設定**になっているので、下矢印を1回押して、Enterを押します。
3. ハイライトされたエントリーがHDMIに0なり、1,それが必要なものです。Tabキーを1回押して、OKがハイライトされたら、Enterキーを押します。
4. 最初の画面に戻ります。Tabキーを2回押して、Finishが選択されるようにし、Enterキーを押します。
5. これで、サウンドが正常に動作することが確認できるはずです。再起動の必要はありません。

これで解決しない場合は、ここに多くの有益な情報があります：<https://www.raspberrypi.org/documentation/configuration/config-txt/video.md>

<https://www.raspberrypi.org/documentation/configuration/config-txt/video.md>

## ブルートゥース

Bluetooth（＝BT）機器は一般的に動作します。Piと4Piの場合は400,、Debianアプリの**Bluem**  
**an**が動作するという朗報があります。システムトレイにあるおなじみのBTアイコンをクリックすることで、その機能にアクセスできるように設定されています。

- マウスBTマウスは、通常、ユーザーの手を煩わせることなく動作します。
- キーボードです。初回のログインには、有線のキーボードを使用するか、画面上のキーボード「onboard」を使用してください（トップバーの右端にある小さな人型をクリックしてください）。キーボードの電源が入っていることを確認します。BTアイコン>デバイスをクリックし、ポップアップした画面で「スキャン」をクリックします。キーボードが一覧に表示されたら、右クリック>セットアップ。
- まだペアリングしないでください。代わりに「ペアリングなしで進める」を選択して、キーボードが使えるようにします。その後、「Setup again」→「Pair」で、メッセージボックスに表示されるコードを入力してください。コード入力うまくいかない場合は、MXメニューでオンスクリーンキーボードを起動して入力してください。

キーボードは通常、ログアウト後に再ログイン



すると再接続されますが、再起動すると再接続されない場合があります。ログイン画面のトップバーの右端にある小さな人型のアイコンをクリックすると、再びスクリーンキーボードが表示されます。ログイン後、**BTアイコン**>最近の接続>ヒューマンインターフェースなどをクリックして、再度キーボードを有効にしてください。

ペアリング時にキーボードが表示されない場合は、デバイスファイルが破損している可能性があります。そのような場合は、デバイス画面でデバイスを右クリックし、「削除」をクリックしてください。その後、一度ログアウトしてから再度ログインし、新しいデバイスに対して上記の手順を繰り返してください。

- スピーカー/ヘッドフォン。デスクトップでは、このようなデバイスがミキサー用のPulse Audioにリンクされるように設定されており、通常は干渉するブロックが、`~/fluxbox/scripts`にある `"BTadphones_reset"` というスクリプトを使って、ユーザーがログインするたびにリンクを再起動することで回避されています。セットアッププロセスに従い、**デバイスが Audio Sink に接続されていることを確認**します。通常はログイン時に再接続されますが、もし再接続されない場合は、システムトレイのBTロゴをクリックし、「最近の接続」→「Audio Sink」などを選択します。

システムトレイからBTアイコンを削除したい場合は、メニューを右クリックして「設定」→「構成」→「スタートアップ」でFluxboxの「スタートアップ」ファイルを開き、「blueman-applet」を検索して、以下のような行をコメントアウトしてください。

```
## ブルーマンアプレット &
```

Openbox側でも同じようにします。メニュー→「設定」→「自動起動」です。

## 無線LAN

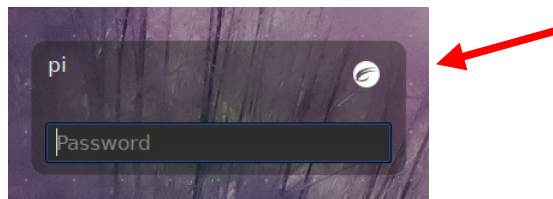
システムトレイの無線LANアイコンをクリックして（ネットワークマネージャから）、目的のアクセスポイントを選択します。問題が発生した場合は、こちらをお試してください。

- `raspi-config`を起動する（設定マネージャのアイコンまたはターミナル）。
- システムオプション」→「無線LAN」をクリック
- SSIDとパスワードを入力する

これで設定ファイルが更新され、ワイヤレスアクセスができるようになります。その他のヘルプ[Ubuntuコミュニティのドキュメント](#)。

## 2. 一般的な紹介

MX Linux for Raspberry Pi "Ragout2" (=MXRPi2)は、従来のRaspberry Pi (Buster)の32bit版をベースに、安定性の向上とタッチスクリーン上での右クリック機能を実現しました。今回の改訂版では、ログイン画面の右上にあるセッションマネージャーのアイコンを使って、ウィンドウマネージャーとして[Fluxbox](#)(=FB)または[Openbox](#)(=OB)を選択できるようになりました。



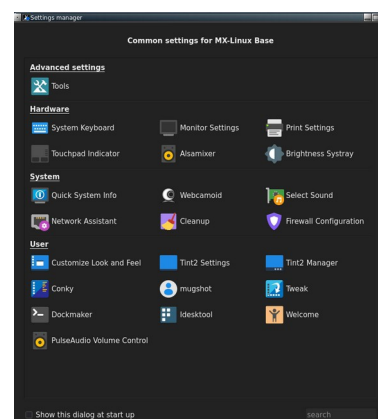
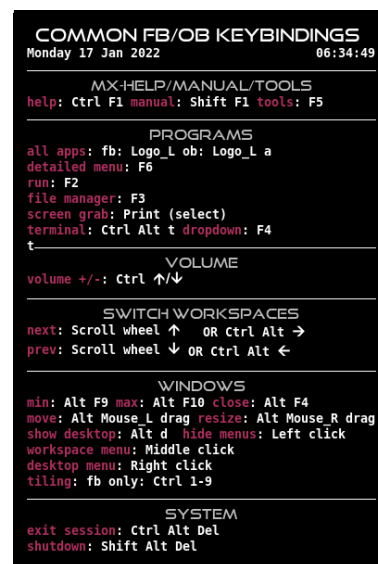
クリックしてFBまたはOBを選択

メモリ使用量が少なく、ロード時間が短いため、低リソースのシステムでは非常に効果的であり、高レベルのマシンでは非常に高速です。

デフォルトのタスクマネージャー (lxtask) で測定すると、ログイン後のFBまたはOBの静止状態での典型的なメモリ負荷は約200、デフォルトのWebブラウザが起動し、負荷の高いプラグインをロードせずに落ち着いた後では約350です。

### 備考

- ほとんどのショートカット (ホットキー、キーバインド) はどちらのウィンドウマネージャでも同じです。OBで表示・編集するには、メニュー>設定  
>FBでは、メニュー>設定>設定>キーをクリックします。概要を確認するには、メニュー>外観>Conky をクリックし、*FB\_OB\_Keys* のバリエーションの1つを開きます。共通の設定に簡単にアクセスできる便利なダッシュボードが2つあります。
  - 設定マネージャーは、メニュー>設定マネージャーまたはAlt-F5から起動できます。MXRPi2に特化した多くの機能が集約されています。
  - MX Tools**は、設定マネージャまたはF5から起動できます。このコレクションは、ユーザーを中心とした便利な補助機能を集めたもので、MX Linuxの機能として高く評価されています。
- ログイン画面では、トップパネルの「アクセシビリティ



」(人の画像)をクリックするか、F3を押すことで、オンボードのバーチャルキーボードが利用できます。ログイン後、メニューやタッチスクリーンのドック(下記参照)を使って、別のキーボードkvxkbを起動することができます。

- 通知はDunstによって有効になっており、その詳細なユーザー設定は`~/.config/dunst/dunstrc/dunstrc`にあります。
- 助ける。
  - このMXRPI2-Manualは、F1、メニュー、ヘルプで開くことができます。  
または、赤いクエスチョンマークのついたドックアイコンをクリックしてください。  
。DeepL.comで作成された多くの翻訳が存在します。

- 動画は、デスクトップの「ヘルプビデオ」アイコンを右クリックすると、M X FluxboxのYouTubeチャンネルで簡単に見ることができます。
- 2つのウィンドウマネージャの干渉を避けるために、壁紙はFBでは**Nitrogen**が、OBではfehbgが選択します。両方が同じ方法を使うようにするには、「自動起動」（OB）または「スタートアップ」（FB）を調整してください。
- デスクトップのアイコンは両方のウィンドウマネージャに表示されます。
- コンキーはウィンドウマネージャに固有のものなので、obとfbで異なるコンキーを設定したり、（デフォルトでは）片方だけにコンキーを設定することも可能です。
- デフォルトでは、すべてのアプリ(rofi)、ルートメニュー(デスクトップ右クリック)、詳細なカテゴリメニュー(xfce4-appfinder)、ウィンドウマネージャ(デスクトップ中クリック)など、複数のメニューが用意されています。シンプルで静的なルートメニューは、伝統的でありながら非常に便利なものです。

## CREDITS

MXRpi2は、Raspberry PiとMX

Linuxをベースにした、安定したユーザー中心のOSを作るために、過去20年間に才能ある寛大な開発者から提供された既存のコンポーネントを、独自の方法で構成・配置したパーソナルレスパンです。ソースは以下の通りです。

- Linux、Debian、Raspberry Piの開発者
- Openbox、Fluxbox、Xfce、LXDE、BunsenLabs、Mepis、antiX
- 仕事をするためのツールやアプリを開発している多くの個人が
- 何の理由もなくこのプロジェクトに時間と労力を割ってくれたMX Linux Devs
- MX-Fluxboxユーザーの皆様のご協力とご提案は非常に貴重なものでした。

みんなに感謝しています。

### 3. タッチスクリーン

タッチスクリーンを使いやすくするために、専用のコンポーネントや設定を開発しました。

- 特殊なドックとパネルが用意されており、指でキャッチできる程度の大きさ（11px）の露出を残して自動で隠れるように設定されています。設定マネージャ>Tint2マネージャで、実行中の項目の選択を解除し、名前が "Touchscreen" で始まる2つの項目にチェックを入れます。
- 特別なドックの両端には、下向き矢印のアイコンがありますが、これはアプリを起動せずにドックを開くためのものです。
- メニューのフォントが増え、起動するエントリーを選びやすくなりました。
- ログイン画面で、人型（アクセシビリティ）をタップするか、F3を押すと、仮想キーボード（[オンボード](#)）が起動します。
- メニュー → 「設定」 → 「タッチスクリーン」をクリックすると、専用ドックが起動したり、バーチャルキーボードが表示されたりします。

以下の機能は、「[7Raspberry Pi Official Display](#)」でテストしたところ、OOTBで動作しました。

- 長押しで起動するデスクトップ上の右クリック。
  - 既知の問題：ウィンドウ内の要素（リンク、ファイルなど）で、コンテキストメニューが表示されても使用されないという問題がありました。
- 1指
  - シングルタップでフォルダやファイルを開く、ウィンドウを閉じる
  - タイトルバーによるウィンドウのドラッグ
  - 問題点を改善するために、テーマの変更を検討します。メニュー>外観>テーマ
- 2指：Firefoxや設定マネージャなど一部のアプリでは、垂直方向にドラッグすると下/上にスクロールします。
  - Thunarでは、画面をドラッグしても動作しません。スクロールバーを使用するには、簡単につかめるように寸法を変更する必要があるかもしれません：featherpadまたは他のテキストエディタで開いてください。  
~/.config/gtk-3.0/gtk.css を参照して、お好みの値に調整してください。（これは synaptic などの他の gtk アプリケーションにも影響しますのでご注意ください）

```
scrollbar, scrollbar button, scrollbar slider {
    min-width: 12px;
    min-height: 12px;
}
```

[touchégg](#)という実験的なリソースがデフォルトでインストールされていますが、これまでのところ、これらのウィンドウマネージャでは確実に機能させることができませんでした。

タッチスクリーンに関する既知の問題。

- Raspberry Pi  
Busterでは、画面の反転（フットパッドを正しく使用し、電源などの接続を底面に配置するための設定）は、Bullseyeのように自動的に行われません。  
[arandr](#)を使って手動で画面を反転させても、少なくともBusterではデスクトップが反転

しません。[このドキュメントに記載されている回転の詳細は、問題を解決するかもしれませんが](#)、私たちはまだそれらの解決策を実行して成功したわけではありません。

- **Debian "Bullseye"**  
"の公式ディスプレイ（特に64bit）には様々な問題が報告（リンク）されており、これをきっかけに私たちは "Buster" と32bitを採用することにしました。
- **デスクトップのアイコンを押しても起動しない。**

## 4. デフォルト設定

### 4.1 フラックスボックス

FBは、2つの基本的な構成で実行できます。ここで紹介する「デフォルト」と、「トラディショナル」（セクション5）です。



左上から時計回りに、主要なコンポーネントを紹介します。

1. デスクトップアイコン（4.1.1項）
2. 「コンキー」と呼ばれるシステム情報表示（4.1.2項）
3. クリエイティブなtint2パネル（セクション4.1.3）
4. MX ドックメーカーまたは tint2 が管理するドック（セクション 4.1.4）
5. 隠れたFB "rootMenu"（セクション4.1.5）

新規ユーザーが最初に利用するのは、ドック、パネル、デスクトップメニュー（rootMenu）から利用できる「設定マネージャー」でしょう。

デスクトップやドックのアイテムに加えて、以下のようなツールでもアプリケーションを起動できます。

- 従来のパネルの「スタート」（MXロゴ）ボタンを使って、フルカテゴリーメニュー（キーコンビナート *Logog+x*）
- キーコンビネーションの *Logo+a*（WindowsまたはAppleのアイコン）で、「rofi」と呼ばれる非常に高速なツールを起動し、便利なプロパティのアルファベットメニューを表示します（詳細は[Wikiを参照](#)）。
- ショートカットF2で、実際のプログラム名を使った小さな実行ウィンドウ（fbrun）を表示します。

以下のセクションでは、これらの各コンポーネントの使用方法和管理方法について、基本

的な理解を深めていただきます。**注：**以下のセクションでの「メニュー」という言葉は、デスクトップまたはデスクトップ上で右クリックして表示されるルートメニューを指します。

### 3.1.1 デスクトップアイコン

隠す。メニュー」→「見えないところ」→「アイコンを切り替える  
削除（アイコン）：アイコンを中クリックするとiDesktoolが起動します。  
停止：メニュー>見えないところ>トグル  
iDesk管理。メニュー>外観>  
デスクトップアイコン  
ヘルプ：[専用ビデオ](#)または[Wikiにて](#)

デスクトップ・アイコンは、MXRpi2では、2005年に最初に開発され、FBやOBのような最小のウィンドウ・マネージャのユーザのためにデスクトップ・アイコンを描くために設計されたプログラムであるiDeskによって有効になっています。MX  
Linuxの開発者とユーザーは、既存のツールを改良、近代化、拡張してiDesktoolを開発しました。メニュー> 外観>  
デスクトップアイコン。このツールは、MXRpi2でのデスクトップアイコンの使用を非常に容易にします。非常にわかりやすく、使用方法についての質問も少ないはずです。

ここでは、デフォルトの「Help  
PDF」アイコンを例に、デスクトップアイコン（~/iDeskrcで設定）の基本的なマウス操作をご紹介します。

アクション	マウス	例
実行	左シングルクリック	MXRpi2のYouTubeチャンネルに開く
実行する	右シングルクリック	このドキュメントを開く
管理	中段（スクロールボタン） シングル クリック	アイコンにフォーカスしたiDesktoolを開きます。
ドラッグ	左クリックでホールド、離すとスト ップ	

### 4.1.2 コンキー

FBでは、デフォルトでデスクトップシステムの表示が有効になっています。

隠す。メニュー>見えないところ>トグル  
コンキー  
削除（コンキー） します。メニュー>アビ  
アランス>Conky  
停止：メニュー>見えないところ>conkyの  
トグル  
管理。メニュー>アビアランス>コンキー  
ヘルプ： Wikiで[MXコンキー](#)、[コンキーマネージャー](#)

MXRpi2のユーザーは、MX Conkyを起動することで、MX  
Linux用のデフォルトのConkyセットを利用することができます。Conky  
Managerは、そこからアクセスすることもできますし、他のメニューからもアクセスできま

す。Conky Managerは基本的な管理を行う便利な方法ですが、MX Conkyは色の操作などMX Linux独自の高度な機能を提供します。

## Conky

Managerでは、以下の簡単な手順で、コンキーの編集、表示、表示を行うことができます。

- 各コンキーをハイライトして、メニューバーのプレビューボタンを押すと、どのように見えるかを確認することができます。必ずプレビューを閉じてから次のプレビューに進んでください。
- 設定アイコン（歯車）をクリックすると、位置情報などの基本的なプロパティを変更できます。
- 使用したいコンキーにチェックを入れてください。自動でインストールされます。

- 設定ファイルは、`~/.conky/`というフォルダの中に、個々のテーマファイルとして格納されています。初心者には難しいかもしれませんが、Conky Managerでconkyをハイライトして、編集アイコン（鉛筆）をクリックすることで、編集することができます。

より複雑なコンキータの場合は、コンポジターを使用する必要があります。メニュー」→「設定」→「コンフィグ」→「スタートアップ」をクリックし、コンポジターに関する行のコメントを外して、以下のようにします。

### 4.1.3 tint2パネル

隠す。メニュー」→「見えないところ」→「パネルの自動非表示を切り替える削除します。Manual: `~/.config/tint2/` から設定を削除します。

Stop: Manual: "startup "ファイルの行の前にコメント(#)を入れる

Manage: 設定マネージャー>Tint2 マネージャー（ドックとパネルのアイコン） ヘルプ : [Wikiにて](#)

オリジナルのFBツールバーは、現在のユーザーが期待する機能やデザインとは大きく異なります。ここでは、"伝統的"なツールバーと、"tint2"と呼ばれる高度な設定が可能なアプリを使用しています。

パネルを変更するには、スタートボタンの横にあるレンチアイコン、ドックの歯車アイコンをクリックするか、メニューのリストを選択して「設定マネージャ」を起動します。そして、"Tint2 manager"をクリックします。また、`Logo+a (rofi)` で直接アクセスすることもできます。

この画面では、`~/.config/tint2/`にあるすべてのtint2の設定が表示されます。

MXRPI2には、タッチスクリーンの使用に特化した2つの設定を含む、非常に異なる設定の小さなセットが用意されているので、それを試すことができます。

既存の設定を選択するだけでなく、パネルの要素を変更することもできます。実際、これはtint2の大きな楽しみの一つです。コンフィグ"または"エディット"ボタンをクリックすると、グラフィカルまたはダイレクトテキストで編集することができます。

グラフィカル・エディターには、2つのアプリケーションがあります。

- "Themes"
 

"には、ユーザーのロケーションにあるすべてのtint2のコンフィグと、インストール中に持ち込まれたいくつかのコンフィグが表示されます。
- "Properties"
 

"は、実行中のコンフィグの機能を表示します。プロパティ"ウィンドウが表示されていない場合は、左上にある小さな歯車のアイコンをクリックしてください。

ここでは、「プロパティ」ウィンドウでの一般的なアクションをご紹介します。

- パネル・ドックにランチャーを追加／削除する。左側の「ランチャー」の項目をクリックします。右側のパネルには2つの列があり、左には現在ツールバーに表示さ

れているアプリケーションのアイコンが、右にはインストールされているすべてのデスクトップアプリケーションのリストが表示されます。

- **追加**：右カラムのリストから必要なアプリケーションを選択し、中央の「左矢印」アイコンをクリックしてから「適用」ボタンをクリックすると、即座にツールバーに追加されます。
- **取り外し**：手順を逆にしてください。
- **上下の矢印でパネルドックのアイテムの順番を設定します。**
- **パネルの移動やサイズ変更を行う。**左パネルの「パネル」の項目をクリックし、右パネルでその配置とサイズを選択します。適用  
"ボタンをクリックします。ここで、下にスクロールして、必要に応じて「自動非表示」ボックスをチェックすることもできます。

- 時刻／日付のフォーマットに変更する。Tint2

Manager画面の下部にあるボタンで12h/24hを切り替えます。その他の変更は、左パネルの「時計」をクリックし、「1行目の形式」または「2行目の形式」の欄を好きなように変更します。タイムコードについては、[Wiki](#)をご参照ください。

注意：現在の設定を変更する前に、バックアップを取ってください。~/config/tint2/tint2rcをクリックして、"tint2rc\_BAK"などの新しい名前で作成してください。バックアップファイルからカスタマイズしたすべての行を、新しい tint2rc 設定の適切な場所にコピーすることができます。

#### 4.1.4 ドック

隠す。メニュー」→「見えないところ」→「ドックの自動非表示を切り替える削除／追加（Dockアイテム）を行います。メニュー>外観>ドックメーカー停止（デフォルトドック）。メニュー>Out of sight>デフォルトドックの停止管理することができます。メニュー>アピランス>ドックメーカー（タッチパネルドックの場合：tint2）

ヘルプ：[専用ビデオ](#)または[Wiki](#)

MXRPI2には「Dockmaker」というネイティブアプリがあり、ユーザーはドックの作成、変更、管理を簡単に行うことができます。ユーザーが初めてログインすると、デスクトップに縦型のドックが表示されます。その設定は~/facebook/scripts/DefaultDock.mxdkで行われます。

注：Dockmakerの代わりに[タッチスクリーン用のドック（tint2）](#)を使用しており、非表示にすると11pxのエッジが現れてタッチスクリーンで使えるようになっています。このような「パネルドック」は、Dockmakerでは操作できません。

#### 4.1.5 デスクトップ（ルート）メニュー

Hide: デフォルトでは常に非表示、右クリックで表示

Remove/Add（メニュー項目の削除）です。メニュー」→「設定」→「Configure」→「Menus

Stop:

~/fluxbox/initの中の、次の行で始まる行の前にコメント(#)を入れてください： session.menuFile

管理するメニュー」→「設定」→「Configure」→「Menus

ヘルプセクションと4リンク

注：デスクトップをミドルクリックすると、ウィンドウ/デスクトップメニューが表示されます。

静的なデフォルトのルートメニューは、短いメインメニュー(~/fluxbox/menu-mx)と、~/facebook/submenusにある3つのサブメニュー(外観、設定、見えないところ)という別々の4ユニットで構成されています。これらのフラットファイルは読みやすく、完全にユーザーのコントロール下にあります。

rootMenuのセクションは、セパレーターラインによって確立されます。

- トップ：すべてのアプリ：非常に高速なメニュー（rofi）と最近のファイル
- 中：使用頻度の高いアプリをいくつか
- ボトム。外観」、「設定」、「見えないところ

」、「残す」

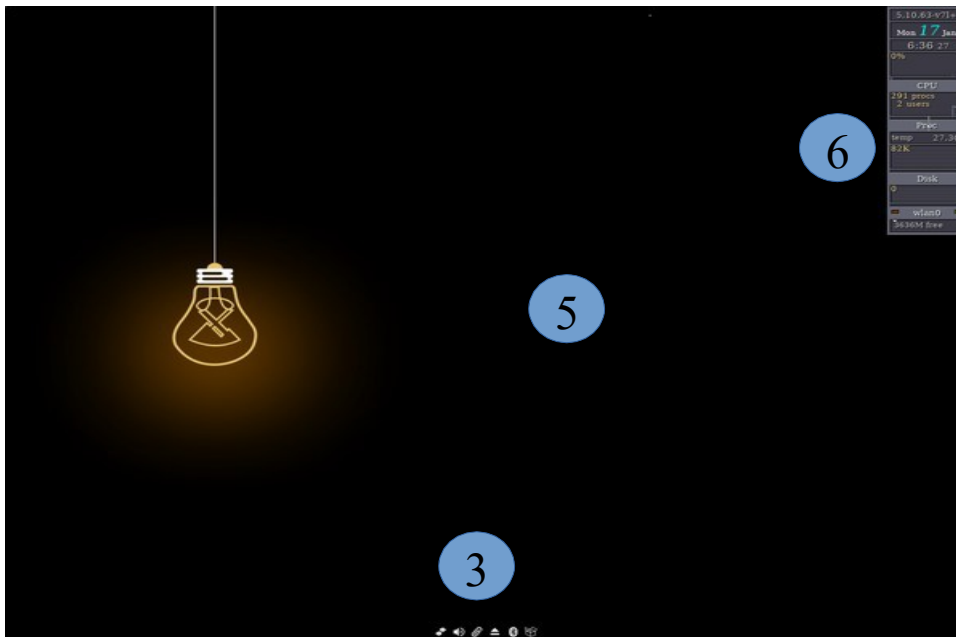
新しいユーザーは、このメニューを使いこなすといい  
でしょう。

#### **4.1.6 モニター（デフォルトでは表示されません）**

見る 4.2.6

## 4.2 OB

OBは`~/.config/openbox`にある、`autostart`, `menu.xml`, `rc.xml`というファイル3に依存しています。



### 4.2.1 デスクトップアイコン

4.1.1参照

### 4.2.2 Conky (デフォルトでは表示されません)

4.1.2参照

### 4.2.3 シストレー

自動非表示、位置指定など：メニュー>設定>基本設定、Dockタブ

**Stop: Manual:** オートスタートファイルの行頭にコメント(#)を付ける/外す

設定を行います。`~/.stalonetrayrc` (可能なパラメータについては `> man stalonetray`)

シストレーは[stalonetray](#)で作成されます。ドックとして扱われるため、MXのドックとは同じ画面位置（「スロット」、FBでは「スリット」と呼ばれる）に配置されるため、簡単には共存できません。

### 4.2.4 ドック (デフォルトでは表示されません)

見る 4.1.4.

## 4.2.5 デスクトップ（ルート）メニュー

**Hide:** デフォルトでは常に非表示、右クリックで表示されます。

**Remove/Add**（メニュー項目の削除）です。メニュー → 「設定」 → 「Configure」 → 「Menus

管理するメニュー」 → 「設定」 → 「Configure」 → 「Menus  
ヘルプリンク

メニューファイルはxml形式で、FBのものよりも読みやすく、変更しやすくなっています。

注：デスクトップを中クリックするとウィンドウメニューが表示されます

## 4.2.6 モニター

MXRpi2で使用しているOB版では、[多くのスキン](#)と[多くのプラグイン](#)が  
利用可能なデスクトップモニタスタック [gkrellm](#)がデフォルトで有効に  
なっています。

表示します。メニュー>外観>モニター  
隠す。N/A

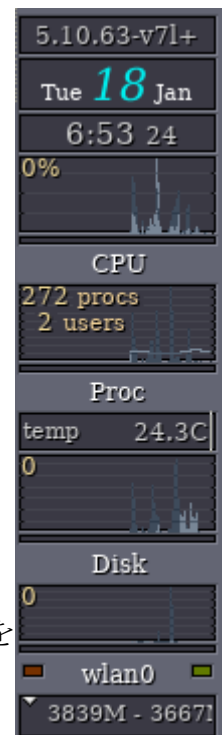
**Autostartの停止：** *autostart/startup* ファイルの中で、以下のような行をコメントアウトします。

```
#gkrellm &
```

**コンフィグ：** トップパネルを右クリック>コンフィグ。個々の要素について、右クリックで設定できます。

**ヘルプ：** [ウェブサイト](#)。

gkrellmをシストレイに配置することは可能だと思われますが、[こちらの説明](#)を  
。



## 5. 従来のFBコンフィグ

このセクションでは、従来のFBセットアップを行いたいユーザーを対象としています。

### 何から始めればいいのか？

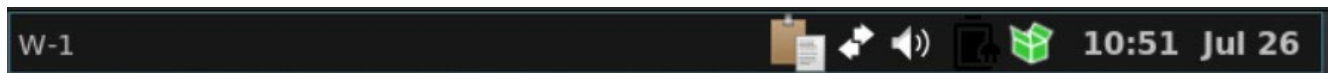
従来のFBの設定を復元するのはとても簡単です。デスクトップ上の任意の場所を右クリックすると、デスクトップメニュー（rootMenu）が表示され、使用することができます。次のような変更が指先でできます。

- 設定＞ツールバー＞Fluxbox：従来の（tint2）パネルが消えて、画面上部にFBツールバーが表示されます。
- 視界外＞キルドック\*。
- 視界の外＞キルコンキスタッチ
- 視界の外＞iDeskとアイコン\*を切り替える

\*永続的な変更のためには、ファイル「設定」→「構成」→「スタートアップ」の該当行をコメントアウト（#）して、以下のようにしてください。

```
#$HOME/.FB/scripts/DefaultDock.mxdk
#$HOME/.FB/scripts/conkystart
#idesktoggle idesk on 1>/dev/null 2>&1 &
```

それでは、変更されたデスクトップをどのように理解し、使用するかを説明します。



### 上にあるツールバーは何ですか？

このFBツールバーは、MXユーザーにワークスペース、開いているアプリケーション、システムトレイ、そして現在の時刻に関する情報を提供します。幅や配置は、ツールバーの時計やページャーを中クリック（＝スクロールホイール）して得られるオプションで設定できます。何らかの理由で動作しない場合は、メニュー＞設定＞ウィンドウ、スリット、ツールバー＞ツールバーをクリックしてください。高さは`~/.FB/init/`で設定します。

```
session.screen0.toolbar.height:0
```

ゼロがある場合は、選択されたスタイルが高さを設定することを意味します。それ以外の場合は、`to`の20値が快適であることが25多いです。

ツールバーには、以下のデフォルトコンポーネントが含まれています（左から右）。

#### ポケットベル

- ワークスペースを上（右クリック）、下（左クリック）に切り替えることができます。  
。Control + F1/F2/などと同じで、Ctrl-Alt +  
←/→や、デスクトップの空いている部分でスクロールホイールを使っても可能です。  
。番号と名前は `~/.FB/init` で設定します。"W"は "Workspace"  
"の略です。デフォルトでは使用されていません。

#### アイコンバー

- 開いているアプリにはアイコンが表示され、関連するアイコン（ツールバー自体も含む）を右クリック＞アイコンバーモードで様々なウィンドウオプションを利用

きます。MX-FBのデフォルトは、「すべてのウィンドウ」です。

systemtray AKA systray

- Xfceの通知領域に相当します。デフォルトのコンポーネントは`~/FB/init`に設定され、`systemtray`オプションを持つアプリは起動時にそこに表示されます。

#### クロック

- 時計を12hまたは24hに合わせるには、右クリックして「12h」または「24h」のどちらか表示されている方をクリックします。うまくいかない場合は、"Edit clock format"を選択してください。
- 24時間：`%H:%M`、12時間：`%I:%M`。
- デフォルトでは、12時間制で、日付は日/短月形式：`%I:%M %b %d`です。他にも多くの時刻・日付のオプションがありますが、その詳細は[Wikiをご覧ください](#)。

デフォルトでこのように設定されている `~/FB/init/`

の中のツールバー・コンポーネントを移動したり削除したりすることができます。

ワークスペース名、アイコンバー、システムトレイ、時計

ツールバーを**Windows**のようなレガシーシステムに近づけるにはどうしたらいいですか？

クリックメニュー>外観>ツールバー>トラディショナル (ti  
nt2使用)

いらないデスクトップアイテムを消すにはどうしたら

いいですか？メニュー>見えないところ>...

このエントリーには

- プログラム全体を停止させる実際のキルエントリーです。次回のログイン時には、スタートアップファイルで有効になっていたものが、デフォルトのドックを除いて再び表示されますが、これは無効になります。
- デフォルトのドックを削除するためのディセーブル・エントリーです。
- プログラムを終了させたり、再起動させたりすることができるトグルエントリー。

メニュー項目を変更・追加するにはどうすればいいですか？

メニュー」→「設定」→「構成」→「メニュー」の順に選択します。構文は次のとおりです。  
[カテゴリ](名前){コマンド}-大括弧、小括弧、中括弧を正しく使用してください。

例1:「ミュージック」をDeaDBeeFではなくClementineを開くように変更する

- Musicという単語がある行を探す（必要に応じてCtrl+Fを使用） [exec] (Music) {deadbeef}.

- コマンド部分の "deadbeef" という単語をダブルクリックしてハイライトさせ、"clementine" と入力して保存すると、このような結果になります。

(exec) (音楽) {clementine}。

- メニュー」→「残す」→「更新」をクリックす

ると、新しい設定が使用されます。

例2：メニューにSkypeを追加する

- この例では、「Communicate」という新しいカテゴリーを共通アプリのセクションに追加したいと仮定し、そこに入力します。

- サブメニューのコマンド（下記参照）を使ってカテゴリを作成し、新しい行を導入して、パターンに従ってください。[exec] (メニュー項目) {command}.
- 結果は以下のようになります。[サ

ブメニュー] (Communicate)

[exec] (Skype) {skypeforlinux}を使用しています。

[終了]

- メニュー > リーブ >  
リフレッシュ

必要に応じてアプリケーションファインダー（F6）を開き、対象となるエントリを右クリックして「編集」を選択し、メニューの正しいフルコマンドをコピーしてください。

その他、ウィンドウについて知っておくべきことはありますか？

- サイズ変更変更したい角の近くでAlt+右クリックしてドラッグします。
- 移動：Alt+左クリックしてドラッグ
- スティック：左上の小さな四角を使って、ウィンドウを現在のデスクトップに限定します。
- オプション：ウィンドウの上部にあるツールバーを右クリックします。特に価値があるのは、サイズと場所（~/FB/appsに記録）を記憶するように選択する機能です。
- タブ機能：あるウィンドウのタイトルバーをCtrl-クリックしたまま、別のウィンドウにドラッグ&ドロップするだけで、複数のウィンドウを上部にタブがある1つのウィンドウにまとめることができます。再び分離するときは逆の手順で行います。

メニューにスタイルが表示されていますが、これは何ですか？

スタイルとは、ウィンドウやツールバーのコンポーネント、そしてメニューの外観をどのように生成するかをFBに伝えるシンプルなテキストファイルです。FBには/usr/share/FB/styles/に多数のスタイルが同梱されており、Menu > Look > Styleで表示されます。また、"FB styles"で検索すると多くのスタイルがオンラインで見つかります。

スタイルには背景画像を含めることができますが、MX-FBではメニュー>設定>設定>オーバーレイのトップラインでデフォルトでブロックされています。スタイルが背景を決定できるようにするには、ラインの前にハッシュマークを置き、以下のようにします。

!次の行は、スタイルが背景を設定するのを防ぎます。  
#バックグラウンド: なし

あるスタイルが気に入ったが、特定の特徴を変更したい場合は、そのスタイルを~/FB/stylesにコピーし、名前を変更してから変更を加えます（下記のリンクにあるUbuntuスタイルガイドを参照してください）。このフォルダには、MXで使用するために変更されたFBスタイルがいくつかあります。

テーマとはどのようなもので、どのように管理すればよいのでしょうか？

MX-

FBにはいくつかのテーマがデフォルトでインストールされていますが、その他のテーマはウェブ検索で見つけることができます。GTKテーマは、パネルの色、ウィンドウやタブの背景、アプリケーションがアクティブなときと非アクティブなときの見え方、ボタンやチェックボックスなどの項目を制御します。テーマには、非常に暗いものから明るいものまであります。

MX-FBのデフォルトテーマは「MX-

Comfort」です。このテーマは、デスクトップ上で右クリックして、「メニュー」→「外観」→「テーマ」を選択すると、テーマ、アイコン、フォントなどのセレクトが表示され、他の可能性を簡単に確認、選択することができます。

## 一部の文章が読めないのですが、なんとかありませんか？

テーマセレクトを使って、テーマやスタイルで使われているフォントを調整することができます。MXPiのデフォルトはSans

11です。~/FB/overlayファイルを使って、より詳細なコントロールが可能です。例えば、テキストを全体的に大きくするには、次のようなコマンドを試してみてください。

```
# フォント-----
menu.frame.font:PT Sans-12:regular
menu.title.font:PT Sans-12:regular
toolbar.clock.font:PT Sans-11:regular
toolbar.workspace.font:PT Sans-11:regular
toolbar.iconbar.focused.font:PT Sans-11:regular
toolbar.iconbar.unfocused.font:PT Sans-11:regular
window.font:Lato-9
```

その他のフォントオプションについては、このドキュメントの最後にあるリンクを参照してください。

## 壁紙の変更は可能ですか？

まず、オーバーレイファイルが背景を決定するスタイルをブロックしていることを確認してください。次に、「メニュー」→「外観」→「壁紙」→「選択」の順にクリックすると、選択可能な選択肢が表示されます。メニューから表示されるリストには、ユーザーの背景 (~/facebook/backgrounds、~/Pictures/Backgrounds) とシステムの背景 (/usr/share/backgrounds) があります。

## どのような端末がありますか？

- Ctrl+F4とメニュー=Xfce4-terminal
- Ctrl+Alt+t = Xterm

## 独自のキーストロークの組み合わせを使用できますか？

はい。多くのキーは、メニュー>設定>設定>キーにデフォルトで表示されています。いくつかのキーの名前は少しわかりにくいです。

- Mod1 = Alt
- Mod4 = ロゴキー(Windows, Apple)

More: <http://FB.sourceforge.net/docbook/en/html/c296.html>

MX-

FBには専用のファンクションキーの組み合わせがあります（変更するにはキーファイルの上部を参照してください）。

- Ctrl+F1を使用しています。MX-FBドキュメント
- Ctrl+F2：クイックアプリランナー "[rofi](#)" でコマンドを実行する
- Ctrl+F3：ファイルマネージャー
- Ctrl+F4：ドロップダウンターミナル
- vF5: MXツール

ファンクションキーだけでは、アプリの使用と競合しないようにプログラムされていません。

どのようなスクリーンオプションがありますか？

- 明るさについて設定マネージャー＞ツール＞明るさのシストレ
- Capture: ドックにある専用のアイコンがMXRPi2-quickshotを実行します。Print Screen（別名Print、PrtScなど）キーがあれば、それも使えるはずです。リージョンを選択するように設定されています。

スリットについての記事を読みましたが、それは何ですか？

スリットはもともと[dockapps](#)のコンテナとして考えられていましたが、MXRPI2では主にdockに使用されています。デスクトップ上の様々な場所に設置することができます。

- 左上、中央上、右上
- 左センター、右センター
- 左下、右下、中央、右下

このターミナルコマンドで、dockappsのデフォルトレポを検索することができます。

*apt-cache search dockapp*

レポにある多くのものは、うまく機能しないかもしれませんが、見てみる価値はあります。

## 6. リンク

manファイル（ターミナルまたは <https://linux.die.net/man/>）： fluxbox, fluxbox-keys, fbrun, fluxstyle, fluxbox-remote.

<http://fluxbox.sourceforge.net/docbook/en/pdf/fluxbook.pdf>

基本的なハンドブック、やや古いがまだ使える。

[http://openbox.org/wiki/Main\\_Page](http://openbox.org/wiki/Main_Page)

非常に参考になるOB Wiki

<https://bbs.archlinux.org/viewtopic.php?id=77729>

いくつかの良い一般的な説明と例

<https://wiki.archlinux.org/index.php/fluxbox>

いくつかのコマンドはArch特有のもので  
す。

<https://wiki.ubuntu.com/HowToFluxboxStyles>

<https://ubuntuforums.org/showthread.php?t=617812>

FBキーでの優れたスレッド

<https://desertbot.io/blog/raspberry-pi-touchscreen-kiosk-setup>

Kiosk setup for RPi Buster

[https://raspberrypi.stackexchange.com/questions/tagged/touchscreen?](https://raspberrypi.stackexchange.com/questions/tagged/touchscreen?tab=newest&page=1&pagesize=15)

[tab=newest&page=1&pagesize=15](https://raspberrypi.stackexchange.com/questions/tagged/touchscreen?tab=newest&page=1&pagesize=15)

オフィシャルディスプレイの最近の

問題点 <https://wiki.debian.org/FluxBox>

<http://fluxbox.sourceforge.net/docbook/en/html/chap-tabs.html>

ウィンドウのタビング

<https://fmirkes.github.io/articles/20190827.html>

RPiのタッチスクリーン上での右クリック（Bul  
lseyeは不可）。

<https://github.com/jerry3904/mx-fluxbox>

MX-FBのGitHubレポ

<https://mxlinux.org/wiki/help-files/help-mx-fluxbox/>

The MX-FB Wiki entry

<https://bit.ly/2Sm1PJl>

YouTubeです。MX-  
FBチャンネル

**v. 22.02.14**